

健康ネットワーク

痔と思っていたら大腸がん

食生活の欧米化にともない、大腸がんが増えています。痔が原因でがんになることはまれですが、大腸がんによる出血を痔からの出血と高をくくっているうちに、がんが進行するケースが最近増えています。痔歴の長い人は痔の知識が豊富なので、それが災いして症状のすべてを痔のせいにしてしまい、最初から痔による出血と思い込んでいる人が多いようです。

大腸は長さ約1.5mあり、がんがよくできる部位は直腸とS状結腸で、大腸がんの約7割が左側の大腸にできます。特に直腸は肛門と直接つながっているために、大便にまじった血液を見ただけでは、どこから出血したものか判断が付きません。自分は痔持ちだという人は、特に注意が必要です。肛門からの出血を

「また痔だろう」と自己判断してしまい、危険です。肛門の出血や血液の混じった便が出た時には、どこから出血したものを医療機関で調べてもらう必要があります。

大腸がんは、出血を伴うことの多いがんです。しかし、大腸からの出血はすべて目に見えるわけではないので、便に血液が見えなくても検査が必要です。大腸がんの基本的な検査として、便潜血反応があります。便の中に混じっている血液を検出し、出血しているがんやポリープを発見しようとする検査です。

この便潜血検査で陽性になった方は、必ず大腸内視鏡検査を受けてください。陰性の方よりもはるかに多く、大腸がんが発見されています。

医師 柿沼 知義

羽生昔がたり

時代の流れと共に生活様式が大きく変わり、家庭の行事(晴れの日)も消えてなくなりつつあります。昔から伝えられてきた年中行事をお知らせしましょう。

家庭の年中行事 十月(神無月)

- 14~15日 お日待ち(三田ヶ谷・弥勒・今泉・稲子・砂山・手子林) 秋まつり(須影) 秋ぶるまい
- しのっぱらい(村君)
- 17日 十三夜
- 19~20日 お日待ち(本川俣)
- 20日 刈り入れ 刈り上げ祝
- 23日 二十三夜様
- 25日 お日待ち(東谷)
- 30日 榛名講(上岩瀬)

しのっぱらい 秋ぶるまい

午前5時頃から六・七升のおこわ(赤飯)をふかし、太鼓の合図で雷電様へお札とおこわをもらいに行きます。家では

せだら

身内を招いてご馳走をふるまいます。(常木)

豊作のとき、農家の人々の話の中でよく使われる言葉です。「今年はこの位とれたかね」「せだらだんべ」という調子です。せだらとは畝俵という意味で一畝(約1a)で、米一俵(60kg)という意味を表しています。一段(約10a)で十俵となります。また五段門といって、土地が五段あると門をつくり、八段になると倉をたてることを意味し、この地方の見栄っぱり(の)ことをいいます。

ほまち

外持と書き、個人の臨時収入、へそくりの意味でしたが今では「二段の田んぼならほまちに出来るべ」といった調子に使われています。

榛名講

はんな講、辻切り、辻がため、電祈禱、雷まつりと呼び方は色々ありますが、講員の代表者が榛名神社でお札をうけます。地区の入口の辻に二本の竹を立て、その間にしめ縄をはります。その横につけて来たお札を竹竿にはさんで立てます。今でもミニサイズのものが立っています。

雷は思いもかけない、いたずらをするので農村の人たちにとっては、恐いもの一つであったのでしょう。世の中は、どんどん進んでいきますが、まだまだ自然の力には勝つことはできません。昔の人の敬虔な態度がしみじみと分かるようなお祭りです。



環境 COMMUNICATION

ごみ減量協力店・協力事業所を募集します

大量消費・大量廃棄もたらしているごみ問題は、資源のムダ遣いや最終処分場のひっ迫とともに、地球環境問題の要因ともいわれています。

ごみの減量には、市民の皆さんと事業所の皆さん、そして行政とが一体となつて取り組むことが必要とされています。

市では昨年4月から、ごみの減量や資源化に積極的に取り組んでいる市内のお店や事業所を「ごみ減量協力店・協力事業所」として認定することを開始しました。このことにより、多くの方が、ごみ減量・資源化に関して意識を高め、循環型社会の形成および地球環境の保全を推進していければと思います。

よって、簡易包装や資源物の自主回収など、環境に配慮しているお店・事業所の皆さんのご応募をお待ちしています。

対象店舗・事業所
市内にあるすべての店舗・事業所

認定要件 対象店舗・事業区分に応じた、一定の基準を満たすこと
その他 認定店には、認定書と認定表示板を交付します。



問い合わせ
環境課(内線296)
なお、現在はこの制度により、4つの店舗と1つの事業所が認定されましたので、ご紹介いたします。

| 認定番号 | 店舗・事業所名 | 所在地 |
|------|--------------|---------------|
| 1 | (株)ケンゾー本店 | 羽生市南5-9-26 |
| 2 | (株)ケンゾーウエスト店 | 羽生市西4-17-1 |
| 3 | (株)ケンゾーノール店 | 羽生市東3-17-13 |
| 4 | HASUMI | 羽生市南5-9-26 |
| 5 | ジャスコ羽生店 | 羽生市川崎2丁目281-3 |

鳥島風月

俳句 (俳句連盟会員)

- 白南風や古りし注連縄詣道 上羽生 津田 成子
- 草いきれ抜けて小沼の展れり 本川俣 堤 瑞枝
- 夏草や浮橋狭め背丈越ゆ 上新郷 手島 美枝
- 宵宮の笛を遠くに長湯かな 中央三 寺井 芳子
- 沼一隅明るさ広げ半夏生 北荻島 戸ヶ崎淳子
- 学僧の白装束が滝に映え 本川俣 中島 京子
- お似合ひと少し派手目の甚平を 神 戸 西田 光子
- 日の匂ひ記憶の匂ひして茅の輪 東 一 根岸 光子
- 胡瓜もみ畑の匂ひそのままに 今 泉 根岸 光子
- 散歩道伸びてうれしや青田風 上新郷 長谷川景一
- 店仕舞ひ一息ついてメロン切る 中央四 長谷川節子
- 蓮咲いて隠沼少し華やぎぬ 中手子林 長谷川好子
- 端居して今日の幸せ数へたる 喜右工門新田 荻原 澄江
- 夕風や帰ってくる子に蚊遣香 中央五 蓮見由美子
- 水影の睡蓮しづか沼静か 南 五 羽鳥 茂子
- 短歌 (羽生短歌会)
遠山を利根の堤にながむれば 尾根白々とかすみの中に 上新郷 柿沼ノブ子
我のこ生きよとはかり松の木は 真つ直く伸びて枝葉広がる 東 六 根岸美津子
眼の窪み頬のこけしに触れてみぬ 夫の塑像の若き面影 南 五 今成マサ子